

# 玉原アスナロ希少個体群保護林

希少-43

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 利根沼田森林管理署
所在地	群馬県沼田市
面積	5.73 ha
設定年	1934(S9)年
保護林の概要 (設定目的)	天然生アスナロの伏条更新が良好な林分で、原生林に準ずる林相を有し、学術上及び森林施業上の考証として貴重であることから、アスナロが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定した。



アスナロ群落(2019.09.29撮影)



アスナロ群落(2019.08.29撮影)

## モニタリング調査概要

実施年度	2009年、2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、アスナロの生育地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	保護林内にはアスナロの純林が成立しているが、若齢から中齢木が多いため生育密度が高く、高木層・亜高木層において種内競争が行われており、樹勢の弱い生育不良の個体が淘汰されている状態にある。このため、林内はアスナロの枯損木がやや多くなっている。今後もこの種内競争による淘汰が行われ、本アスナロ林は、中齢から高齢木からなる林相に変化していくものと思われる。林内に生育するアスナロの淘汰の状況と主林木を形成していくと考えられる個体の直径成長の状況を監視していくことが必要である。また、テングス病が3個体で確認された。このため、今後は被害の拡大に注意を払っていくことが必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。